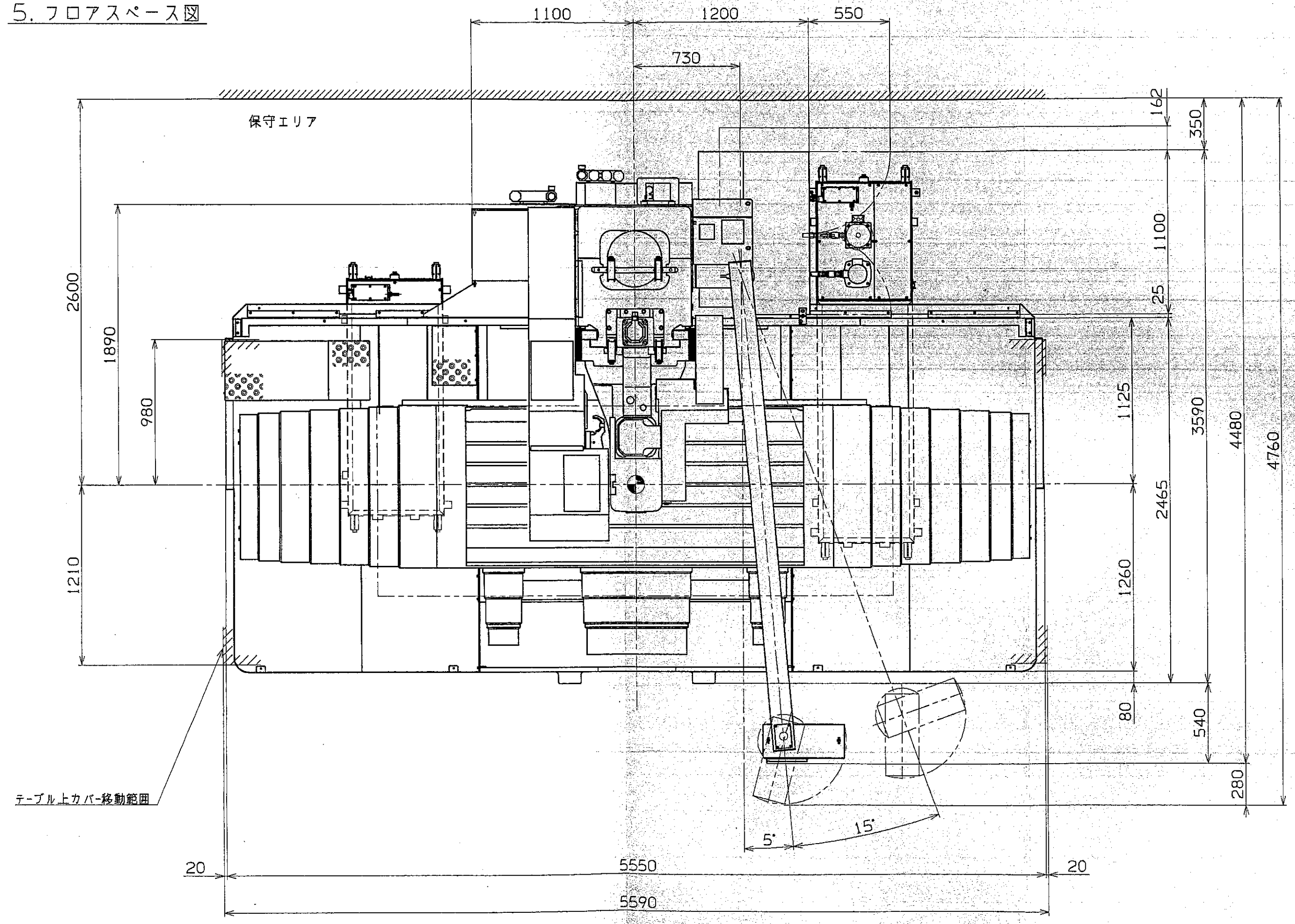


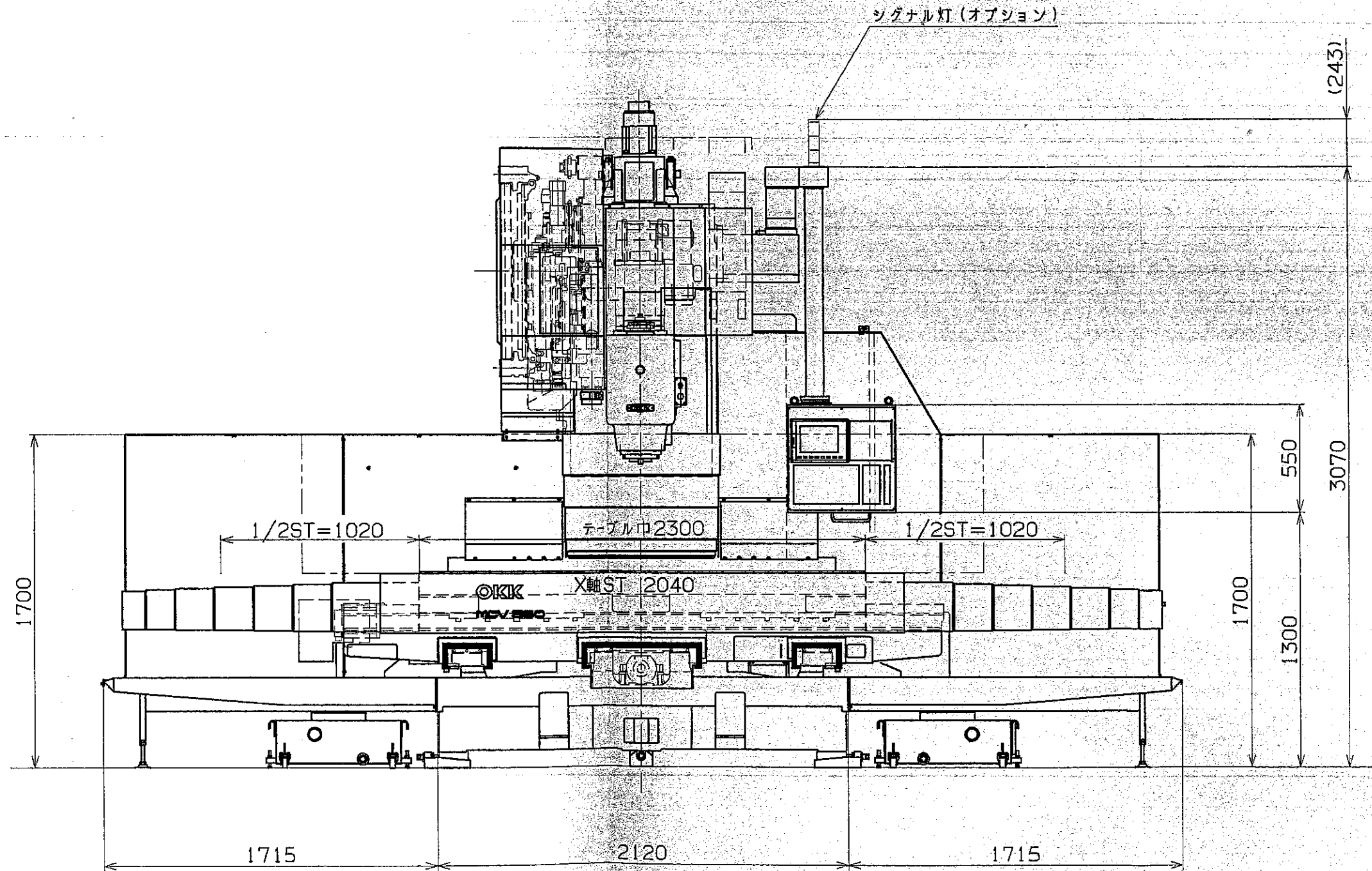
MC0/29FS010A フロアスペース図 J:25 MA67287A 030111 中谷(港) REF:0129FS010A

### 5. フロアスペース図

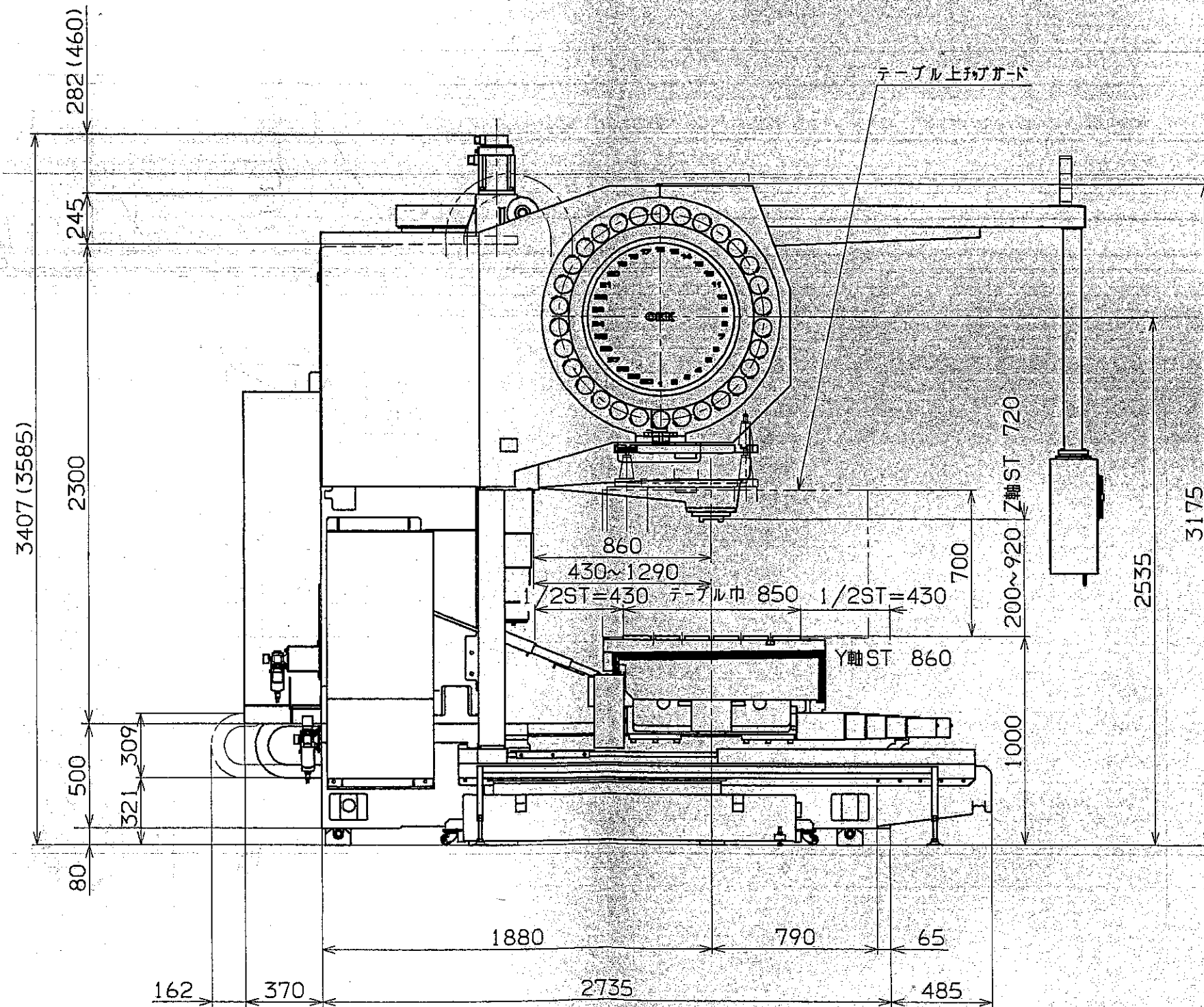


6. 全体図

正面図



左側面図



( )寸法はFANUC仕様



13 据付基礎図

MCV860 標準機

電源ケーブル引込口 (制御箱底面迄の高さ730)

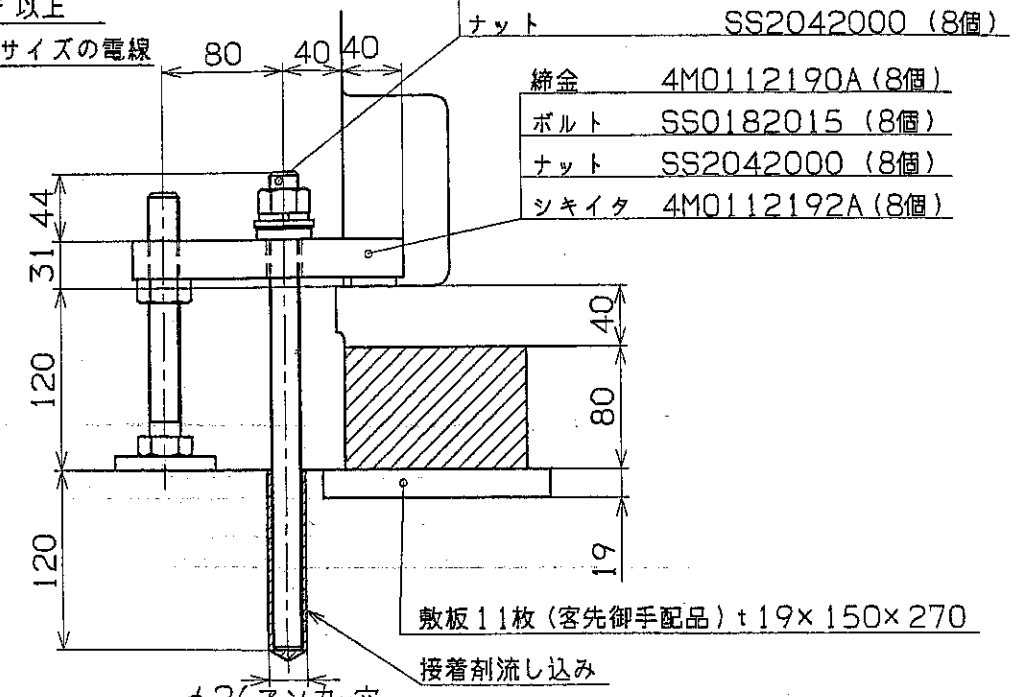
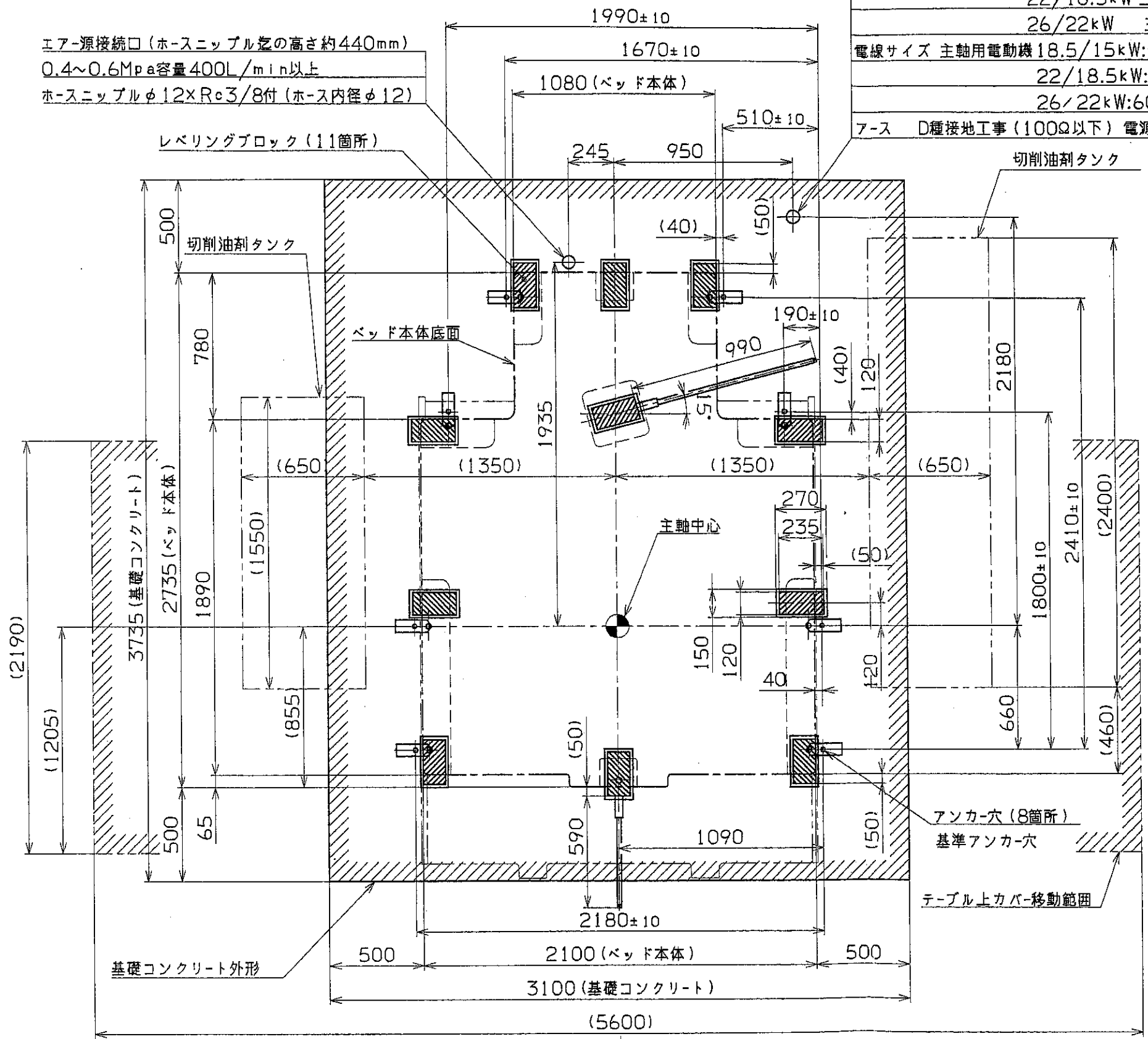
電源容量 主軸用電動機 18.5/15kW 三菱:43kVA, FANUC:41kVA  
 22/18.5kW 三菱:49kVA, FANUC:47kVA  
 26/22kW 三菱:55kVA, FANUC:52kVA

電線サイズ 主軸用電動機 18.5/15kW:50mm<sup>2</sup>以上  
 22/18.5kW:50mm<sup>2</sup>以上  
 26/22kW:60mm<sup>2</sup>以上

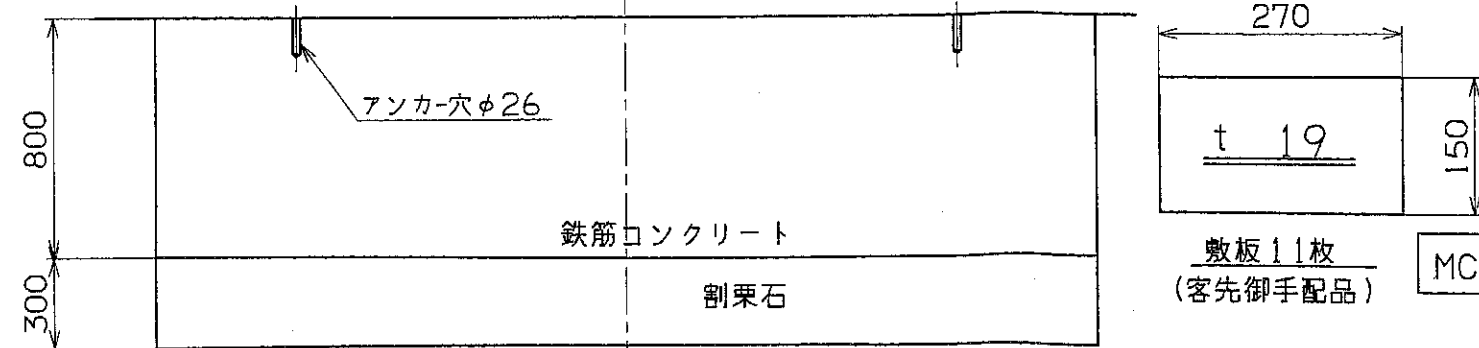
アース D種接地工事 (100Ω以下) 電源と同サイズの電線

アンカボルト 4M0526158A (8個)  
 スプリングワッシャ SS2552000 (8個)  
 球面ザガネ YS9195020 (8個)  
 ナット SS2042000 (8個)

締金 4M0112190A (8個)  
 ボルト SS0182015 (8個)  
 ナット SS2042000 (8個)  
 シキイタ 4M0112192A (8個)



- 基礎及び据付  
 機械の精度保持と防振のため次の諸点に充分注意してください。
1. 基礎は据付場所の土質に応じて機械の質量に対して安全かつ水平を維持するのに充分強固な基礎であること。  
 (呼称強度:23MPa以上)
  2. 基礎コンクリートは機械質量に充分耐えられる様、鉄筋を適宜、配置して補強して下さい。
  3. 基礎コンクリートの養生期間は4週間とって下さい。
  4. 機械の据付に対しその水平、芯出し、振止めについては本図の如くレベルングブロックを入れ、基礎ボルトにより締付け調整して下さい。  
 そしてそれが維持されているか時々点検して下さい。
  5. 地盤の地耐力は0.06MPa以上を必要とします。
  6. 地質や地耐力の軟弱な場合は、必要に応じてパイルの大きさや本数を決め施工願います。
  7. 基準アンカー穴に対する各アンカー穴の位置度は±10mm以下に穴明け願います。
  8. 鉄筋は予めアンカー穴位置を避けて埋め込んで下さい。
  9. ボンドアンカー施工手順については、基礎・据付説明書「2. 4アンカーボルト埋設工事手順」の項を参照願います。
- (注記) 接着剤 (ボンド) は客先御手配品となりますのでアンカー穴施工と同時に準備下さい。  
 ボンドE200 (コニシ株式会社)  
 必要量 2.0kg



MCV860標準機  
 機械総質量 17000kg (30MG) / 17300kg (40MG)  
 ワーク最大質量 3000kg

MCV860 B	標準	21-1
----------	----	------

据付基礎図

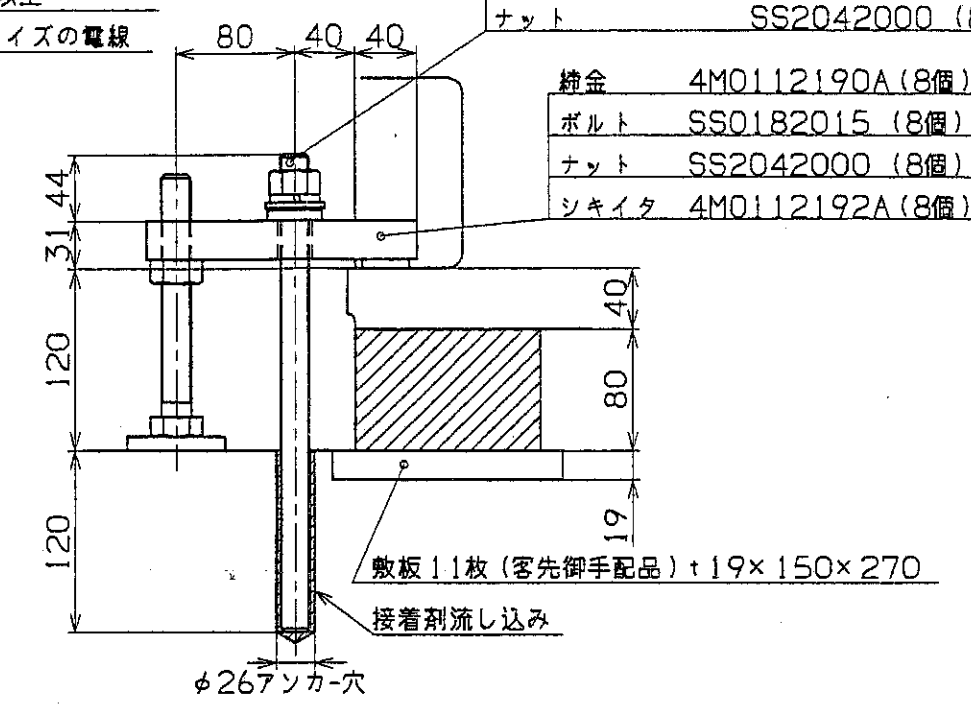
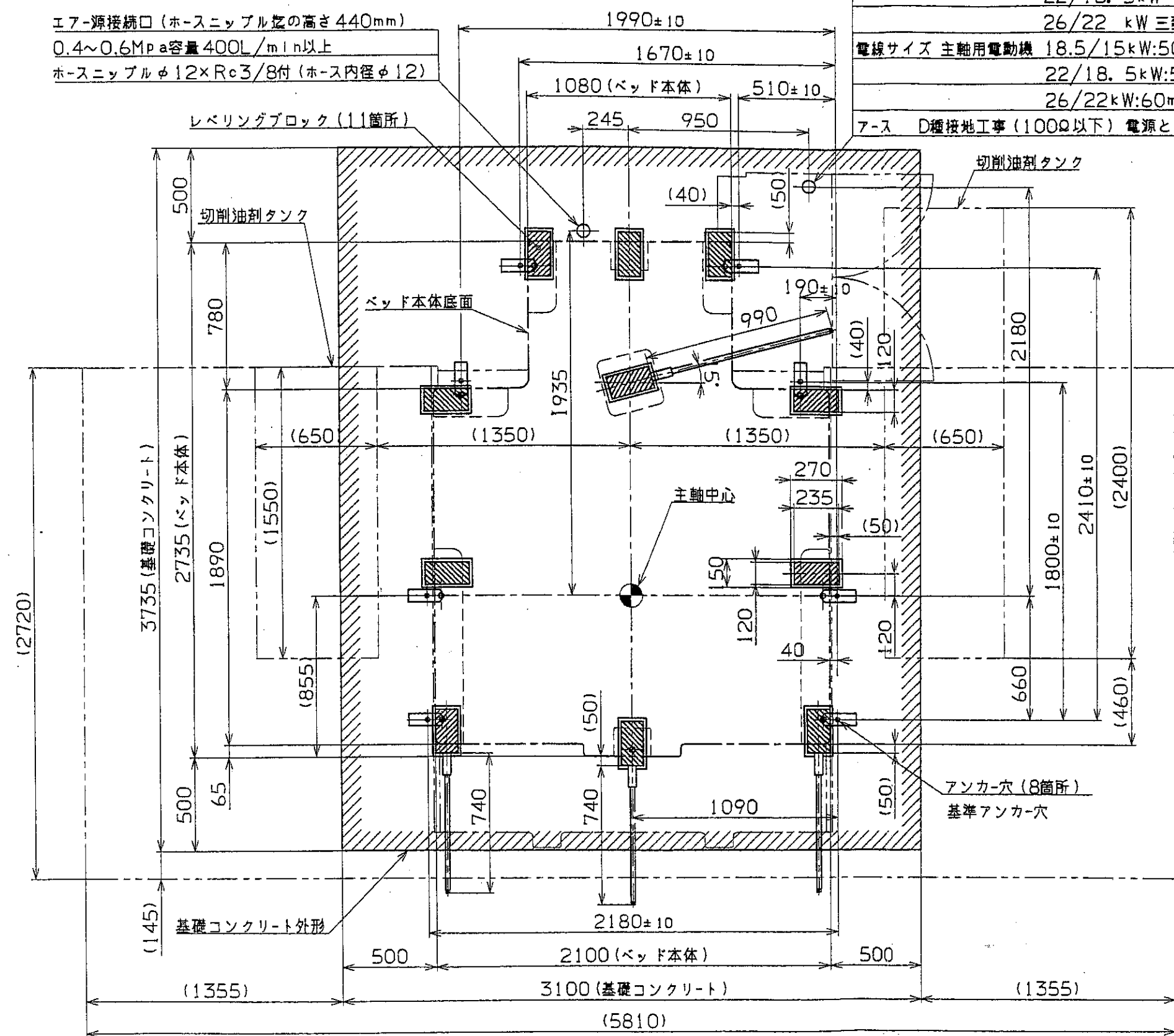
MCV860 S/G仕様機

エア-源接続口 (ホ-スニップル迄の高さ440mm)  
0.4~0.6MPa容量400L/min以上  
ホ-スニップルφ12×Rc3/8付 (ホ-ス内径φ12)

電源ケーブル引込口 (制御箱底面迄の高さ730)  
電源容量 主軸用電動機 18.5/15kW 三菱:43kVA, FANUC:41kVA  
22/18.5kW 三菱:49kVA, FANUC:47kVA  
26/22kW 三菱:55kVA, FANUC:52kVA  
電線サイズ 主軸用電動機 18.5/15kW:50mm<sup>2</sup>以上  
22/18.5kW:50mm<sup>2</sup>以上  
26/22kW:60mm<sup>2</sup>以上  
ア-ス D種接地工事 (100Ω以下) 電源と同サイズの電線

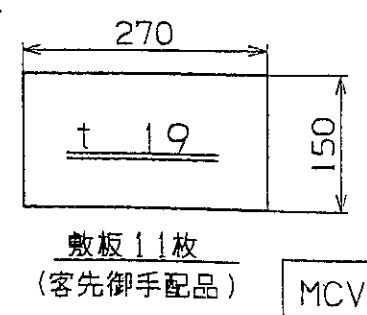
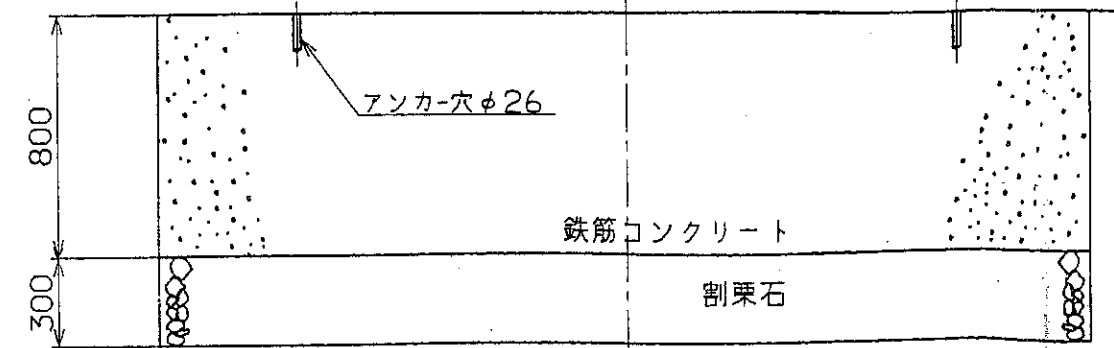
アンカボルト 4M0526158A (8個)  
スプリングワッシャ SS2552000 (8個)  
球面ザガネ YS9195020 (8個)  
ナット SS2042000 (8個)

締金 4M0112190A (8個)  
ボルト SS0182015 (8個)  
ナット SS2042000 (8個)  
シキータ 4M0112192A (8個)



基礎及び据付

- 機械の精度保持と防振のため次の諸点に充分注意してください。
1. 基礎は据付場所の土質に応じて機械の質量に対して安全かつ水平を維持するのに充分強固な基礎であること。  
(呼称強度:23MPa以上)
  2. 基礎コンクリートは機械質量に充分耐えられる様、鉄筋を適宜、配置して補強して下さい。
  3. 基礎コンクリートの養生期間は4週間とって下さい。
  4. 機械の据付に対しその水平、芯出し、振止めについては本図の如くレベリングブロックを入れ、基礎ボルトにより締付け調整して下さい。  
そしてそれが維持されているか時々点検して下さい。
  5. 地盤の地耐力は0.06MPa以上を必要とします。
  6. 地質や地耐力の軟弱な場合は、必要に応じてパイルの大きさや本数を決め施工願います。
  7. 基準アンカー穴に対する各アンカー穴の位置度は±10mm以下に穴明け願います。
  8. 鉄筋は予めアンカー穴位置を避けて埋め込んで下さい。
  9. ボンドアンカー施工手順については、基礎・据付説明書「2. 4アンカーボルト埋設工事手順」の項を参照願います。  
(注記) 接着剤 (ボンド) は客先御手配品となりますのでアンカー穴施工と同時に準備下さい。  
ボンドE200 (コニシ株式会社)  
必要量 2.0kg



MCV860  
機械総質量 17000kg (30MG) / 17300kg (40MG)  
ワーク最大質量 3000kg